にちなん
平成28年4月発行　第143号

議会だより

ツリーハウスであそぼうぜ！

（にちなん保育園）

おもな内容

3月定例会……2
予算審査報告……4
一般質問（7名）……6
委員会活動……15
どっこい、この町に生きる……20

発行／日南町議会　〒689−5292　鳥取県日野郡日南町霞800　TEL（0859）82−1900
ホームページ／http://www.town.nichinan.lg.jp/p/1/15/2/
編集／議会広報調査特別委員会　印刷／株式会社高下印刷

3月定例会

3月2日～3月23日（22日間）

保育園　すべての子どもの保育料、無料化へ

日南町議会の3月定例会は、3月2日から3月23日までの22日間の会期で開かれました。増原町長による平成28年度施政方針説明を受けて、7人の議員が一般質問を行い執行部の所信を問いました。

執行部から提案された平成27年度補正予算、平成28年度の一般会計など各会計の当初予算および条例案は、すべて原案通り可決しました。

予算審査は、議員全員で構成する「予算審査特別委員会」を設置し、担当課から詳しい説明を求め、住民にとってよりよい予算となるよう審議を深めました。

少子化対策・子育て支援としてこれまでも町独自に保育料が減免されていましたが、新年度からすべての子どもの保育料が無料となります。これにより保護者負担軽減額は、年間約700万円。また、放課後児童クラブなどの保護者負担も軽減するよう議会から意見書を上げています。

平成28年度にちなん町立保育園

園名	年齢	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	総数
	クラス	きりん	うさぎ	りす	ひよこ	ぱんだ	
山の上	園児数	2		2	2	3	9
にちなん	園児数	12＋①	16	13	20	7＋⑦	68＋⑧
石見	園児数	3	5	5	6	2＋①	21＋①
	総数	17＋①	21	20	28	12＋⑧	98＋⑨

○印はH28年中途入所予定者

平成28年度　会計別当初予算額

会計	金額	対前年度比
一般会計	64億1,430万3千円	△11億7,364万9千円
国民健康保険会計	8億350万4千円	△5,936万1千円
簡易水道会計	3億1万2千円	4万2千円
農業集落排水会計	1億9,584万4千円	△1,140万7千円
介護保険会計	10億6,000万2千円	△2,696万2千円
介護サービス会計	1億4,100万5千円	△5,019万1千円
後期高齢者医療会計	9,312万9千円	△975万7千円
再生可能エネルギー発電事業会計	190万1千円	△1,504万5千円
病院事業会計	12億7,346万7千円	△5,587万8千円
収益的収支	11億2,497万円	△176万8千円
資本的収支	1億4,849万7千円	△5,411万円
合計	102億8,316万7千円	△14億220万8千円

議員提案の条例が継続されます

3年前、議員提案により始まった「日南町住宅改修助成条例」と「日南町意欲ある農業者支援条例」が、さらに3年間継続されます。

助成の制度	単位(千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計
住宅改修助成事業	事業実績（税抜き）	168,607	87,938	115,979	372,524
	補助金額と件数	23,768 111件	12,363 65件	17,019 97件	53,150 273件
意欲ある農業者支援事業	事業実績（税抜き）	31,455	11,339	8,879	51,673
	補助金額と件数	5,657 27件	2,545 11件	2,164 9件	10,366 47件

平成28年度　おもな新規事業

移住専任相談員の配置
（2,738千円）

日南町内で同窓会をすれば特典があります。

参加者にふるさと納税を1万円していただくことにより、実質負担額2,000円で同窓会を開催できます。

「ふるさと納税de同窓会」
（600千円）

高齢者の運転免許証自主返納支援
（200千円）

日南町産米の検査手数料支援事業
1袋30㌔gあたり54円
（6,600千円）

生山駅最寄りに移住定住のための分譲住宅を造成（7戸の予定）
（38,600千円）

「道の駅」で販売する特産品商品化の実証事業
（3,650千円）

予算審査特別委員会の審査報告

3月定例会では、平成28年度一般会計をはじめ、各会計予算の審議にあたり、本会議での質疑後、予算審査特別委員会（委員長　山本芳昭）を設置して、平成28年3月3日、4日、8日、9日、10日、14日に委員会を開催し、付託された各議案の会計予算について関係職員から詳細な説明を受けるなど慎重に審査を行いました。

審査報告

1. 企画課の嘱託職員等

嘱託職員等の業務内容を明確にし連携を

企画課内には移住専任相談員と地域おこし協力隊、集落支援員、地域づくりアドバイザーなどの嘱託職員等が多く配置されているがそれぞれの業務が分かりづらい。業務内容について重複するところは連携のある仕組みをつくられ実効性のあるものとされたい。

2. 青年結婚・Uターン促進事業

移住専任相談員と集落支援員の配置で成果を

新たに移住専任相談員と2つの地域に集落支援委員を配置し、定住促進を進められるが、情報の発信と共有を図り移住者及び移住希望者の相談に応え成果を上げられたい。

3. 観光振興対策事業

非常勤職員の賃金も業務委託金に含めるべき

「非常勤職員」賃金として観光協会会長の賃金を計上し、別に観光協会へ業務委託金を計上しているが、観光協会業務委託金の中に「非常勤職員」の賃金も含めるべきである。

4. 山村情報バンク事業

不在村地主の地籍調査は本来町が行うべき

委託内容は、不在村地主の対応等である。地籍調査でも不在村地主については課題となっており、本来町が行うべきである。

5. 子育て支援策

保育料の完全無償化を実施できないか

保育料の無償化をされるが一時預かり利用料は有償となっている。保育料と同様に無償とすべきである。

０歳児預かり保育、放課後児童クラブ、事業所内保育利用料は１／２軽減を実施されているが、人員確保と合わせて完全無償化を実施されたい。

6. 日南ブランド化推進事業

委託先を精査し成果を上げよ

地方創生加速型27年度補正予算８００万円と合わせ１，３５０万円を業務委託されるが委託先の選定を含め精査され、必ず十分な成果が上がるよう実施されたい。

7. 高齢者の運転免許証自主返還支援事業

返納者の希望にて発行の選択を

自主返納のきっかけづくりとして当分の間交通手段を確保する目的で発行されるのであれば、返納者の希望により一人１万円のタクシー券か町営バス回数券一人１万円分か、どちらかを選択できるようにされたい。

8. 町有林事業

分収造林の必要性の審議を

町有林２，２８２haのうち分収造林が６６６haある。林業政策において循環林の重要性は理解できるが、昨年の林業情勢をふまえた上で分収造林の必要性について、分収割合を含め町有林管理経営審議会において審議されたい。

9. 日南福祉会の負担金

安定的な運営に町の支援強化を

日南町の介護サービス事業を提供する社会福祉法人日南福祉会は、介護士などの人員不足による事業所閉鎖や国の介護報酬の大幅な引き下げにより経営状態が一段と厳しくなっている。　介護保険事業の安定的な運営に取り組めるよう町として支援を強化すべきである。

10. 町民のニーズの把握

住民のニーズに対応した医療を

過疎化の進行に伴い、患者数も減少し、病院経営も厳しさをましている。例えば町民へのアンケートを実施したり直接意見を聞くシンポジウムを開催するなどして、日南病院の基本方針にもあるように、住民のニーズに対応した適切な医療の提供に努められたい。

議会あらかると

議会は、本会議以外の常任委員会や特別委員会を設置して、それぞれ専門的に審査を分担します。また、必要に応じて全員協議会も開かれます。

常任委員会の設置

部門に属する町村の事務に関する調査を行い、議案、陳情等を審議します。任期は２年ですが、後任者が専任されるまで在任します。

●総務教育常任委員会（定数６人）

所管するのは、総務課、企画課、住民課、教育委員会です。

●経済福祉常任委員会（定数６人）

所管するのは、農林課農業委員会、建設課、福祉保健課、保育園、日南病院です。

議会運営委員会（定数5人）

議会の運営を円滑。効率的に進めるため委員会であり、委員がその任期中在任する常設の期間です。

特別委員会

特定の事件に限って設置される臨時的な機関であって、その事件の審議や調査が終了すれば消滅します。

必要がある場合において議会の議決で置くことになっています。

●議会広報調査特別委員会（定数５人）

議会の議事及び活動等につき、広く町民に周知徹底を図るため議会広報紙を定例会後に年４回発行します。

その他の特別委員会として次の委員会が設置された。

●中心地域整備に関する調査特別委員会（議員全員）

●議会基本問題調査特別委員会（議員全員）

●行政調査特別委員会

全員協議会

全員協議会は、「議案の審査又は議会の運営に関し協議または調整を行うための場」として法律上明確に位置づけられています。議長が主宰するものですが、招集については議会運営委員会に諮ることもあります。

一般質問 問と答

問 地籍調査の進捗状況は

答 進捗率24.56%
調査終了見込み、2050年代か

山本芳昭議員

問 地籍調査

①調査着手から終了まで何年かかるか。
②町全体の現在の進捗状況について、また調査終了予定年度はいつごろになるか。
③境界の確定だけでも先行できないか。

答 増原町長

①調査地区1ブロックの調査着手から終了までは、5年を目安に実施している。
②平成27年度末の進捗見込みは、調査済み面積77・53㎢、進捗率24・56%。調査終了は2040年代から2050年代となる見込み。
③測量して登記まで行わないと地籍調査完了とならないが、土地所有者による境界の保存は非常に重要となっている。

地籍調査の現場

問 災害・防災

①災害復旧工事はいつから、誰が、どのように実施されるか。
②水路改修はどのような方法でされるか。
③新石見小水力発電所再稼働の見込みはどうか。
④町と自衛消防はどのように連携されているか。

答 町長

①二次災害を防ぐ応急工事を2月に完了。今後は町が事業主体となって単県補助事業により、測量・調査・設計を行い、予算確保しながら災害復旧工事を実施したい。
②水路の測量調査及び機能診断調査等を行い、水路改修の方向性を定めたうえで、水路の改修工事に着手する。
③小水力発電所を所管する経産局への事故報告において、ヘッドタンク（上水槽）についても精査するようにとの指導があった。専門家、有識者の意見を踏まえ、復旧工事に着手することになる。
④自衛消防は自治会長の指示によって出動を行うことになっている。町は各まち協防災担当部署とも連携を取っている。

問 町道改良工事

①野田塚原線の工期は何故延長されたか。
②霞福塚線の今後の工事予定は。

答 町長

①新石見小水力発電所関連工事が平成27年11月となったことにより、町道改良工事の年内完成が困難となった。
②無坂川の護岸付替、道路横断函渠、道路改良、舗装工事の順で交付金予算を確保しながら進める。

問 現場主義で
日南農政の一本化を

答 農協、普及所と
連携して進める

近藤仁志議員

問 日南町の集落と、その生活を守り続けるための方向性と課題

中心地域整備が目に見える形で着実に進行しているなか、町内の集落を守り、住民の生活不安解消に大きく貢献しているのが、まちづくり協議会と農業生産法人をはじめとする集落営農組織と考える。
①まち（むら）づくり協議会に期待する活動は。
②役場各課から委員の選考、調査等依頼されるが中身を精査し担当課に一元化できないか。
③鳥取県と日本財団による「日南町の中心地域内の公共交通、これと他の地域を結ぶ公共交通」について、その内容と日南町の関わり方は。
④町内の農業生産法人は何団体あるか、その中で常時雇用されている団体は。
⑤イノベーションを職員に求めておられるし、「総合戦略」をはじめいろいろなプランを打ち出してあるが、「補助金申請で世話になるが現場に職員の姿がない。」知る事、感じる事、学ぶ事、考える事がイノベーションには重要と考えるが。
⑥農協、普及所と一緒に現場に出向き、日南町農政の問題を共有することが求められているが。

答 増原町長

①町として、まち（むら）づくり協議会に期待することは、住民参画のまちづくりへの理解と協働の意識である。
②現在も協議会への依頼事項は企画課を通じて行うルールとしており、今後とも窓口として精査と調整を行っていく。
③具体的な支援内容は今後の提案・協議となるが、関係団体と連携して支援について提案していく。
④農業生産法人は15団体、常時雇用者のいる法人は9団体である。
⑤住民の中に入り、住民の意見を聞きそれを政策に反映させるという姿勢を職員に望み、改革していく。
⑥「農家の庭先に農政を」を肝に据え、農協、普及所と連携して進める。

問 道の駅オープンに向け加工品の進捗状況と、その後の対応

①試食会出品者は個人、団体何名か。
②オープン後、道の駅以外での販売の道筋は考えているか。

答 町長

①出品者は、延べ2回で個人が13人、団体が9団体である。
②流通に詳しい事業者とタイアップして新たな販売方法に取り組む。

地域に期待される農業法人（株）ファーミング

問 老人クラブの活動補助金制度の簡素化と拡充内容は

答 申請内容の簡素化と会員の算定額等を増額した

大西　保議員

問 町長の施政方針

①町民の健康増進や生きがいづくり推進を目的として、「ナイター施設や体育施設の無料化」を決断されました。施設利用者に喜ばれる事と思います。そこで、今後ナイター照明の改修を平成30年度に計画をされているが、改修後も無料化を継続されるのかを伺う。

②高齢者が活躍するまちづくりを目指し、「老人クラブ活動補助金制度の簡素化と拡充」を図り、高齢者の活動や交流の機会を増やすとなっていますが、制度の簡素化と拡充の具体的な内容を伺う。

答 丸山教育長

①体育施設の無料化については、施設の改修、改築の計画を含めて検討していく。

無料化になった体育施設（ナイター照明・社会体育館等）

答 増原町長

②補助金申請の簡素化を図るために、申請は専用様式でなく事業計画書と総会資料を添付することで代用できるようにした。町補助金の算定方法は事業費と会員数によるが、会員一人当たりの算定額を300円から600円に増額した。財源として県補助金を申請するため、県補助金の対象外となる食糧費・入場料について別途計上欄を設けたので、ご協力をお願いしたい。

問 環境対応

①鳥取大学と日南町との連携事業の一環で、日野川源流域における水質・生態系調査が、2014年7月～2015年9月の15ヶ月間15回行われ、その報告会が先日開催されました。その得られたデータを基に、町として今後どのように対応、対策を講じようとされるのかを伺う。

②以前より、役場で保管されていたPCBは、すべて廃棄処分されたのかを伺う。

答 町長

①調査結果は、河川水の窒素過多によって下流域の農業被害が発生していたことの裏付け資料のひとつとなるもの。一方で、2年間の調査で解明できなかったこともあり、調査研究の継続を依頼した。

②昨年12月に分析を終え、2月に専門業者と運搬と処分に関する契約を締結、年度内には環境省が認定した無害化処理施設において、すべて焼却処分となる予定。

問 小中学校の給食の無償化を

答 学校給食の無償化は考えていない

久代安敏議員

問 子育て支援

保育料の全児童無償化など子育て支援策の拡充を歓迎するが、小中学生の学校給食費を無償にすることを提案する。

答 増原町長

保育料の無償化などは幼児教育の中で憲法第26条にも沿うと考えるが、衣食住については民法第818条の養育権、親権に属する義務と考えているため、無償化は考えていない。

問 「安全保障関連法案」（戦争立法）と日本国憲法

①安倍政権が昨年9月19日に「安全保障関連法」を強行採決してから半年を迎え、3月末には法律が施行されようとしている。国会には、この法案に反対した野党5党で「廃止法案」を提出しているが、あらためて見解を問う。

②自民党は憲法改正に強い姿勢で臨んでいるが、その改憲草案をどうとらえているか。

答 町長

①憲法論議を行わず周辺法での安全保障は遺憾である。

②自衛権を認めている点等は評価できるが、他の点では問題も多い。

問 TPPと「地方創生」

①TPP参加12か国で2月4日に調印式が行われたが、批准すべきでないと考える。国・県は影響試算を発表しているが、日南町の試算を明らかに。

②TPP協定の中身は、日南町の農業・林業だけでなく医療や保険、食の安全などどの点でも大問題であり、「地方創生」の努力も吹き飛ぶ大矛盾だと考えるが。

答 町長

①国県の影響試算から、本町主要農産物の米、野菜は影響なし。ただし、畜産については輸入状況によっては注意が必要。

②協定内容は更に注視し、農林産業を核として働き場、移住定住の促進など本町創生を目指す。

問 同一労働同一賃金

どの調査を見ても官民問わず、非正規労働者が4割となり、その賃金格差も拡大しているのが実態である。町内の労働実態調査をどのように実施しているか。また、その結果の分析をあきらかに。

答 町長

「職務給」を採用すれば可能になるが、現在の日本での主流である「職能給」、「年齢給」であれば、現在は難しい。また、全体的に日本の賃金が高いと言っている評論家が叫ばれているのも、全体の賃金を下げる結果となりはしないか危惧する。

問 医療・福祉・介護の人材確保が急がれる

答 移住定住推進対策と合わせて人材確保を検討する

古都勝人議員

問 人材の確保

①町内の事業所や会社では、人手不足が慢性化しているが、どのように捉えているか。
またその対応策は。
②町民に一番関わりのある、役場、病院、保健センター、日南福祉会関係においても、人手不足と聞く。その具体的状況と対応策は。
③人材確保が困難となる現状では、人材養成または育成の時期となったと思うが。

答 増原町長

①あらゆる業種において労働者不足が顕在化していると認識している。基本的には各企業独自の方策による解消を図りながら、行政は移住定住推進の取り組みに企業に関わっていただく仕組みなどを検討していく。
②いずれの事業所においても、現在、また将来的な人材の確保に課題があると考えており、それぞれの課題に即した対策を検討している。
③人材の養成についても各企業独自の取り組みが必要であるが、町としても定住対策の視野も含めた資格職などの確保施策を検討していく必要がある。

問 再生可能エネルギー（木質について）

①太陽光発電、小水力発電、オフセットクレジットなど積極的に低炭素化にむけた取り組みがなされているが、家庭で取り組める、薪ストーブ、薪ボイラー、サンヒーターの設置にかかる補助の状況は。
②カーボンニュートラル事業は現在どの様になっているか。
③CNF（セルロースナノファイバー）研究でアジアで始めて日本人3名が「森のノーベル賞」とも言われる大賞を受賞された。山林資源の豊富な日南町にとって、ビッグチャンスと思うが。

答 町長

①制度導入以降、薪ストーブ・薪ボイラー購入者への助成は25件で1，141千円、太陽熱温水器への助成は20件で985千円。
②カーボンニュートラル事業は、国のふるさと雇用事業により平成21～23年度の3年間実施。この間の年間平均販売量は16，902kg／年で、平均販売額は647千円／年。平成27年度の販売見込みは18，390kg／年で、販売額は945千円。
③この素材は、使用する素材が樹種を問わないものである。本町広葉樹の活用が期待できる。今後の動向を注視していく。

薪ストーブが見直されています

問 日南産米のブランド化推進を

答 食味計を道の駅に導入予定 一般農家にも開放

足羽　覚議員

問 日南産米のブランド化

①日南産米のブランド化を推進するにあたり、地域の農業法人が率先して色彩選別機や食味計の導入することにより、日南町の良質な米を販売出来るのではないか。また、米づくりに、こだわりを持つ小規模農家も、この機械等を低料金で活用できれば、日南産米のブランド化の推進がより図れると思うがどうか。
②町内で、資格を持った米の検査員を増やす計画はないか。

答 増原町長

①色彩選別機については、すでに農業法人や大型農家で導入が進んでいる。食味計は道の駅直売所に導入予定。一般農家にも是非活用していただきたい。
②当面はJA検査員体制で実施する。

道の駅に導入された食味計

問 あかねの郷の火災誤報

①先般、あかねの郷の火災報が流れたが、誤報が発生した原因を問う。
②火災報知機の作動後の対応（避難誘導等）はどの様になっているか。

答 町長

①原因は施設内火災報知器のボタンを入居者が誤って押されたことによるもの。消防法改正により自動通報装置を設置しており、消防局に直接通報が入る仕組みとなっている。今回、誤報であることの連絡までに時間を要したことが反省点。
②施設職員が避難計画にそって対応することとなっており、年2回の訓練が行われている。周囲からの避難支援の受入手順等について検討を進めている。

問 蕎麦の6次産業化

日南町の蕎麦生産は、100haの面積が有りながら、加工・販売する業者が少なく、二次産業が乏しい。そこで、出雲とさほど変わらない栽培面積がある本町で、本格的な蕎麦の生産を行い、出雲そばに匹敵する蕎麦処として、6次産業化が図れないかと考えるがどうか。

答 町長

気象条件に影響を受け、収穫量が不安定、土地条件の改善に取り組み、品質、収量向上を目指す。
6次産業化へ向け、町内需要の掘り起こしに努める。

町政のここが聞きたい

問 大田原地区の住宅ゾーンの整備は、いつからか

答 28年度に、子育て世帯向け賃貸住宅を計画している

荒木　博議員

問 中心地域整備について

①大田原地区の商業ゾーンが完成に近づいているが、住宅ゾーンの整備はいつから開始するのか。
②住宅ゾーンの中にサービス付き高齢者住宅と子育て世帯住宅の予定があるが、どのような運営形態をとるのか。

住宅ゾーン予定地

答 増原町長

①28年度には民間資本による子育て世帯向け賃貸住宅の整備を計画している。
②まだ福祉全体計画の中で検討の余地もあるが、サービス付き高齢者住宅は、民間資本による整備・運営も視野に入れて検討をする。着手は、29年度以降と考えている。子育て世帯用住宅については、全体計画の中で協議して、利子助成等について今後補正予算での対応させていただきたい。

問 生山駅付近の分譲住宅について

①生山駅付近の住宅分譲地の募集は少しでも早いほうが良いと思うが、いつから開始するのか。
②分譲地に建築する建物に対する助成金について問う。

答 町長

①年内には造成工事を完了し、造成完成まででも早期に募集を開始したい。
②定住者の家族構成に応じた建築資金助成制度を検討している。

問 子育て住宅について

①土地の賃料は、どのくらい予定されていますか。無償ですか。
②建設費に対しての町の助成は考えているか。
③民間業者への募集は、どうされるのか。

答 町長

①無償でいきたいと思っています。
②現在のところ想定はしておりません。土地の無償と、利子助成で家賃を安くして頂く。
③できるだけ町内業者の皆さんにと思っております。

3月議会審議結果と議員ごとの賛否内訳

賛成＝○　　反対＝×

議案名	結果	足羽党	恵比奈礼子	（欠員）	古都勝人	山本芳昭	大西保	坪倉勝幸	近藤仁志	荒木博	久代安敏	福田稔	村上正広
条例の制定													
日南町職員の退職管理に関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
道の駅にちなん日野川の郷設置及び管理に関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町地方活力向上のための固定資産税の不均一課税に関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
条例の一部改正													
日南町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町職員の給与に関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町情報公開条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町個人情報保護条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町固定資産評価審査委員会条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町手数料条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
地方公務員法の一部改正に伴う関係条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
行政不服審査法の施行に伴う関係条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
平成27年度 補正予算													
一般会計（第7号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
国民健康保険特別会計（第3号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
簡易水道事業特別会計（第3号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
農業集落排水事業特別会計（第2号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
介護保険特別会計（第3号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
介護サービス事業特別会計（第３号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
再生可能エネルギー発電事業特別会計（第3号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
病院事業会計（第3号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
一般会計（第8号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
平成28年度 予算													
一般会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	－
国民健康保険特別会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
簡易水道事業特別会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
農業集落排水事業特別会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
介護保険特別会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	－
介護サービス事業特別会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	－
後期高齢者医療特別会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	－
再生可能エネルギー発電事業特別会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
病院事業会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
その他の議案													
鳥取県行政不服審査会共同設置規約に関する協議について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
鳥取県自治体ICT共同化広域連携協約の締結に関する協議について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
鳥取県行政不服審査会共同設置規約に関する協議について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－

次頁に続く

3月議会審議結果と議員ごとの賛否内訳

賛成＝○　反対＝×

議案名	結果	足羽覚	恵比奈礼子	（欠員）	古都勝人	山本芳昭	大西保	坪倉勝幸	近藤仁志	荒木博	久代安敏	福田稔	村上正広
その他の議案													
町道の路線変更について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
工事請負契約の変更について（日南町総合文化センター空調設備等改修工事）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
工事請負契約の変更について（道の駅にちなんＡ・Ｂ棟新築工事）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
工事請負契約の変更について（道の駅にちなんＣ棟新築工事）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
工事請負契約の変更について（道の駅にちなんＤ棟新築工事）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町過疎地域自立促進計画の一部変更について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町過疎地域自立促進計画の策定について		○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
請願・陳情													
TPP協定を国会で批准しないことを求める陳情	不採択	×	○	－	×	×	×	○	○	×	○	×	－
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	不採択	×	○	－	×	×	×	○	×	×	○	×	－
所得税法第56条の廃止を求める意見書を国にあげて下さい	不採択	×	×	－	×	×	×	×	×	×	○	×	－
発議													
日南町住宅改修助成条例の一部改正について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町意欲ある農業者支援条例の一部改正について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
ＴＰＰ協定の国会批准をしないことを求める意見書提出について	否決	×	○	－	×	×	×	○	○	×	○	×	－
安全保障関連法の廃止を求める意見書提出について	否決	×	○	－	×	×	×	○	×	×	○	×	－

※村上正広議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。ただし、採決で賛否が同数となった場合は「議長裁決」という形で賛否表明をします。

請願・陳情の審査結果

提出のあった請願・陳情は、3月定例議会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審査意見		本会議
所得税法第５６条の廃止を求める意見書を国にあげて下さい。	民商鳥取県連婦人部協議会 会長　西田美津子	女性が事業主の場合、男性が所得を得ることができなくなる。このため、女性差別とは言えない。また、専従者給与については、青色申告を選択すれば良いと考える。		不採択
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長　田中　暁	最低賃金の引き上げにより生活の安定を求める趣旨は理解できるが、現下の経済情勢では中小企業のみの支援や最低賃金の引き上げは困難と考える。		不採択
ＴＰＰ協定を国会で批准しないことを求める陳情	農民運動鳥取県連合会 今本　潔	経済福祉常任委員会の審査では、賛成多数で採択でしたが、本会議で不採択となりました。	ＴＰＰは国内対策が講じられており、批准しても問題はない。	不採択

常任委員会と特別委員会の報告

（15～18ページ）

総務教育常任委員会

	担当課	調査及び報告事項	結果及び意見
1月27日	住民課	今後の国民健康保険特別会計及び基金について	県下一元化に伴う保険料負担軽減措置、基金の使途について報告を受けた。28年秋頃、試算が可能となる予定であり、具体的な対策はそれ以降になる。
	総務課	マイクロバス購入について	29人乗りマイクロバス購入予定との報告を受ける。
	企画課	総合計画（過疎計画）等について	平成33年度まで再延長された法律に基づく、過疎地域自立促進計画案について報告を受けた。
		町営バス運行計画について	27年度の調査に基づき、28年度計画を策定する。
		鳥取県自治体ICT共同化広域連携協約締結について	事務の効率化、経費削減等のため、県と連携するものであるとの説明を受けた。
	教育委員会	学力向上事業の取り組みと成果について	英語検定等を薦めている。学力テストの結果は可能な限り公表したい。土曜日授業がある日に保護者参観や講演会等も実施している。
3月15日	委員会	請願・陳情審査	委員会に付託された請願1件、陳情１件の審査を行った。
	住民課	現地調査:三吉地区土砂崩壊事故現場 （平成28年1月25日に発生した三吉地区）	 新石見発電所の除塵機

3月定例会の最終日に、損害賠償の額を定める追加議案が提案され、平成27年度補正予算と合わせて議決しました

次の3件の事故について一括して損害賠償額を、上限1億円とすることを議決しました。

■平成28年1月25日に発生した「新石見小水力発電所」の土砂崩落による死傷及び家屋等損壊の賠償。

（事故原因についての詳細な結果報告及び改修に係る経費等については、改めて報告します）

■新屋地内の遺跡調査における土地使用に係る賠償。

■平成28年2月3日、菅沢地内で発生した公用車の交通事故による車両損傷（2台）

経済福祉常任委員会

若手移住者との意見交換会

Iターン者との意見交換会を開催し、農林業研修生を指導する（財）エナジーにちなんの担当者にも同席頂き、現在の状況や問題点などお聞きしました。（平成28年3月15日、参加者12名）

議員　最初に、日南町を選んだ理由は、不安は？

若手　研修制度があったから、それと空き家情報があったのが大きかった。

若手　研修制度が充実しているから、来て驚いたのは雪が多いこと。

議員　地域に入って住み易いか、近所付き合いはできているか？

若手　神戸では自治会活動がほとんどなかった。慣れないところもあるし、仕事もあるので調整してやっている。

若手　霞ニュータウンに住んでいる、両隣に子供がいて自分の子供と一緒に遊んで住みやすい。

遊具広場で友達と

若手　イベントが多すぎると感じる。無理して出ている時もあるが仲良く受け入れてもらっている。

若手　丸山で5年になる。行事は多いと感じるが、参加すると職場の人から「頑張っているな」と、喜ばれる。信用も何もない状況で移住して、自分がどんな人間か行事を通じて知ってもらうことも必要。

若手　自治会活動に参加したいが、お酒が呑めず付き合い方がわからないので不安。

若手　自治会にも参加しているが、忙しい時期は農業を優先してもよいと言ってもらっている。

若手　最初は福寿実、次は丸山で、そして現在は中石見に住んでいるが、どこでも良くしてもらっている。でも若い人が少ないのが残念。

若手　結婚して子供が生まれたが、地域の家族・子供として看てくれる。距離感が心地よい。

若手　保育料の無料化の話がでていたが。

議員　その通り、もっと手厚くできないか意見書を出している。

お隣さんまで家族で散歩

議員　生活が成り立っているか？

若手　経営的にはやれている。

若手　給付金が切れたら苦しくなる。冬期間にどうやって稼ぐか重要。除雪をしている人もいるが、冬期間に稼げる手段を紹介して欲しい。

冬はバイトで、米子道の除雪

議員　（株）オロチがアルバイトを募集している、野菜を作りながらアルバイトをする方法は？

若手　それもありと思うが農林業研修生募集の時に、冬期間の仕事について提案して知らせるべき。

議員　冬期間の仕事が昔からの課題。就農認定する時に、就農計画に書きにくいところもあったが、変わってきているので今後、良くなると思う。

若手　グローバル日南で働いている、都会より賃金は安いかもしれないが生活にお金がかからない。野菜をもらったり、家賃が安いので安定して生活できている。

議員　研修は順調？

若手　2年目からトマトを作る予定で、アルファービジネスで世話になるが、カリキュラムや予定を早く教えてほしい。

エナジー　現在調整中です。

議員　早く作成して安心を。農林課も指導しないと研修生が困る。

農林課　農家も教える体制をとって協力的である、協力農家に入れば力量が身に付く仕組みはできている。固定的なシステムを作成することは重要。

議員　就農する時の住宅の確保が心配。空き家は有っても改修費が掛かる。要望や意見を聞きたい。

若手移住者との意見交換会

若手　空き家を購入した。地域に溶け込むためには、空き家を改修して住むことは良いことだと思う。アパートや定住施設の建設もよいが、それで空き家が廃墟になる町は人に勧められない。結婚してリフォームしたが多額なお金が掛かった。

エナジー　町の住宅ネットワークには沢山の登録があるがすぐ住める家がない、空き家を直す補助金があれば有難い。

議員　農林業では作業小屋や大きなスペースが必要では。

改修したリビングで夢を語り合う

若手　住居と併せて物置も重要、トラクターや道具の盗難が心配、作業場としても活用。

農林課　空いた納屋を借りることも良いのでは。初期の金の掛かるときは支援するので、補助制度も有効に活用してほしい。

議員　林業の方の考えは？

若手　研修で自伐林業を知った。自分の山をもって自分の木を切る事ができるとなれば話題性もあり、それを外に発信していければと思う。山林バンクを作れないか。

エナジー　難しい面もあるが、良いことだと思う。

農林課　取得するには費用がかかる、経営権を持てればやれないことはないと思う。

若手　農地が2020年までの契約、更新できなかったことを考えると不安。

農林課　農地法も長期契約に関して規制があったが、20年契約もできるようになったので検討する。利用権設定も事前に協議するので大丈夫。

炭焼き研修中

委員長　研修生の約4割の方が日南町を去られたなか、日南町を選んだ皆さんに定住していただくため、今後とも議会・農林課・エナジーへ、皆さんの意見を述べていただき住みやすい町にしたい。本日は大変ありがとうございました。

農林業研修生定住状況　平成21年度～平成27年度

農業研修生	林業研修生	合計	研修中	独立就農	農業法人等就職	林業事務所就職	町内他産業就職	研修終了後転出	研修中途転出	定住率
25人	19人	44人	5人	10人	4人	4人	4人	8人	9人	61.40%

中心地域整備に関する調査特別委員会

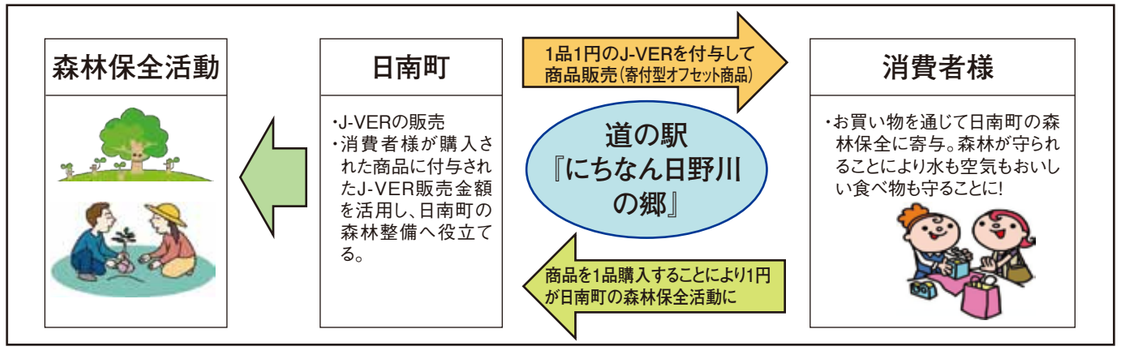
	担当課	調査及び報告事項	結果及び意見
3月16日	企画課	道の駅の進捗状況について	建物は予定通りである。Ａ型作業所は、ＭＡサービスの子会社「(株)しんしあ」が行う。
		寄付型オフセット商品の販売について、外部販売は1円をもらわない。	道の駅で商品で、２通り（店舗内は１円、外部販売はもらわない）あるのはおかしい。とる方向で検討すべきである。
	農林課	出荷者協議会の総会について	現在の会長は駅長となっているが、出荷者の立場では利益相反となりおかしい。３月２４日の総会で役員改選を行う。
	企画課	住宅ゾーンについて	若者世帯住宅を７戸と高齢者住宅を計画している。若者世帯住宅の建設及び管理については、民間事業者と考えている。
4月11日	企画課	寄付型オフセット商品の販売について	外部販売も、寄付型オフセット商品として1円をもらう。寄付金の流れについての説明を受けた。 消費者⇒ＭＡサービス⇒カルビー⇒日南町
		道の駅の進捗状況について	道の駅開設式及びオープニングイベントの説明を受けた。人員確保も出来ている。
	農林課	出荷者協議会の状況ついて	総会で、新会長と３名の副会長の報告を受けた。現在の会員数１３４名。ＰＯＳレジ研修４月６日実施１００名参加した。

現地調査:道の駅にちなん日野川の郷

直売所

レストラン

寄付型オフセット商品の仕組み



自治功労者表彰

平成28年2月16日、鳥取県町村議会議長会より、町村議会議員として25年以上在籍し、功労のあった者として坪倉勝幸議員が自治功労者表彰を受けました。

坪倉議員は、平成2年の補欠選挙で初当選し、その後連続当選され、日南町議会では庁舎建設にかかる調査特別委員会委員長、市町村合併問題調査特別委員会委員長、議会基本問題調査特別委員会委員長、議長などを歴任され、長きにわたり、地域振興および住民福祉の向上に尽くされました。

今後更なるご活躍を期待します。

第1回 臨時会

平成28年1月19日

議決したおもなもの

条例の制定

日南町農業委員会の農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定

日南町農業委員会の農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めることを目的とする。

地域名	経営耕地面積(ha)※1	農業委員(人)	推進委員(人)
大　宮	110	10人 (うち学識経験者1人、女性2人)※2	1
阿毘縁	108		1
山　上	226		2
多　里	125		1
日野上	92		1
福　栄	125		1
石　見	269		2
合　計	1,055	10	9

※1　2010年農林業センサスより
※2　女性委員については努力目標とする。

議会だより保存版を発刊しました

この度、日南町議会では「議会だより保存版」を発刊しました。昭和55年の創刊号から平成27年の第１４１号までを収録しています。

「町報にちなん（現在は広報にちなん）」は第1号からの縮刷版が作成されており、町の歴史を振り返ることができます。これに今回発行した「議会だより保存版」を併せてご覧いただけたらと思います。

保存版は次の場所でご覧になれます。また、貸出もできますので、是非ご活用下さい。

・日南町図書館
・各地域振興センター
・日南町議会事務局

日南町議会ホームページからもご覧になれます。

お問合せは議会事務局
電話82－1900まで

平成27年度 行政視察 受入状況

（12月1日以降）

■12月3日
京都府京丹波町議会
木造庁舎建築

■12月18日
高知県中土佐町教育委員会
土曜日授業に係る取り組み

■12月25日
鳥取県琴浦町役場
まちづくり協議会

■2月3日
群馬県吉岡町議会
議会改革の推進

■2月26日
島根県奥出雲町議会
議会改革の推進

■3月15日
鳥取市大村地区公民会
まちづくり協議会

藤原泰則議員（生山）が、2月29日付けで議員辞職されました。

藤原泰則議員の辞職により議員定数12名の議員は、1名欠員で11名となります。

議員の補欠選挙は、定数の6分の1以上の欠員が生じない限り、平成30年2月の町長選挙と同時に行われることとなります。

インタビューシリーズ

道 どっこい、この町に生きる 草

地方で農業しながら暮らしたい

佐野（さの） 健志（たけし）さん（中石見）

日南町を選ばれたきっかけは？

ネットの研修生募集サイトのトップページで知り決めました。大学を卒業して会社勤めをしていましたが、都会の暮らしが肌に合わなくて、静かな田舎がいいと移住を決意しました。

農業どうですか？

2年間の研修を終え、トマト栽培を始めて5年になります。規模拡大などいろんな悩みはありますが、なんとか続けています。これまでは青年就農給付金事業により、所得補償制度がありましたが、これからが大変です。個人的には300万は稼がないと生活でないと思います。

近所付き合いとかどうですか？

日南町に来てから2回引っ越しました。それぞれの集落で親切にしていただき、付き合いも続いていますし、地域の行事にも忙しくなくて誘いがあればできるだけ参加しています。

日南町の「婚活」には参加されていますか？

結婚ですか…。今は頭にないというか、仮に結婚しても苦労ばっかりでパートナーを幸せにできるか不安です。

新しく「道の駅」がオープンしますが。

今はトマトだけでなくシイタケ栽培や葉物野菜も作付していますので出荷を予定しています。店員の方には商品の特長をしっかり説明して、お客さんに喜んでもらえればありがたいです。どれだけ賑わうか、最初が肝心です。

これからの日南町に期待することは？

やっぱり冬期間に安定した収入が得られる仕事がある町にしてほしい。農閑期にはバイトで今までの研修が生かせる仕事があればいいなと思っています。これからは、もっと子育て世代にしっかり税金を使ってほしいです。

編集後記

日一日と暖かくなり、トラクターのエンジン音にせかせられ農作業が忙しくなってきました。

道の駅を中心とした巡回バスの運行が週7便4月1日から始まり、今月22日には道の駅「日野川の郷」がオープンしました。町民一丸となって賑わいのある町づくりの為に盛り上げて行きたいと思います。昨年の国勢調査の速報値が提示されました。人口が4764人、高齢化率49.7%、5年前と比較すれば696人減、高齢化率も3%アップしました。この先10年、20年を見据えればどんな姿が想像出来るのか「住んで良かった」「住んでみたい」と思えるまちづくりと、小さくてもキラリと輝く町でありたいと想うこの頃・・・

福田 記

議会広報調査特別委員会

委員長 久代 安敏
副委員長 足羽 覚
委員 大西 保
〃 〃 近藤 仁志
〃 福田 稔

議会および議会だよりについて、ご意見をおよせください。 メールアドレス／s0800@town.nichinan.lg.jp